

サイト紹介

ホームページ「利用ガイド」

①「寺院情報」
常高寺へのアクセス、寺院縁起、寺族紹介等の情報を掲載しています。

②「行事・イベント(令和2年度)」
常高寺の今年度の行事やイベントの情報を掲載しています。ご法座の案内状などもダウンロード可能です。

抜粋(行事予定)

行事予定

- 1月1日(水) 修正会
- 1月14日(火)～15日(水) 公正報謝講座
弘中 英正先生
修正会報謝講座内付 [ダウンロード](#)
- 2月1日(土) 新年会(婦人会主催)
- 3月19日(火)～20日(水・中絶) 春季報祥会法座
岡原 弘昭先生
春季報祥会法座中止案内付 [ダウンロード](#)
- 4月21日(水)～22日(木・中絶) 春季永代経法座
白鳥 文明先生
春季永代経法座中止案内付 [ダウンロード](#)
- 5月20日(水)～21日(木・中絶) 隣誼会法座
前美 麗次先生

③「お参りの手引き」

仏事に関するガイドコーナーです。常高寺の主なお参り、年忌早見表、仏事の予約方法、用意するもの、通夜・葬儀の大まかな流れ等々、問い合わせの多い情報を纏めています。

抜粋(お参りの手引き)

通夜・葬儀の流れ

お寺への連絡

- ・個人の仮名前をお伝えください
- ・葬儀の代表者と緊急連絡先をお伝えください
- ・既に葬儀社と連絡済みの場合は、葬儀場の場所をお伝えください
- ・日程の変更などもご相談ください

※法名や期母についての問合せがよくあります。以下を参考にしてください

<お寺のQ&A>

Q4. 戒名ではなく法名? 居士・大師等は付け合いますか?

Q5. 葬儀は付けた方がよいのですか?

葬儀社との打ち合わせ

・お寺の連絡とともに、葬儀社へご連絡ください(「浄土真宗本願寺」 熊野町 常高寺の門徒)とお伝えください

④「きくぞう君紹介」

常高寺のマスケットキャラクター『きくぞう君』の紹介コーナーです。キャラクタープロフィールを掲載しています。きくぞう君イラスト素材集(続々追加中)もダウンロード可能です。

抜粋(きくぞう君紹介)

きくぞう君イラスト一覧

⑤「住職さんに聞くゾウ!」

仏教学基本講座です。きくぞう君との対話形式で、普段中々触れる機会の少ない仏教の基本思想についてお話しするコーナーです。本紙『あまね』でも掲載していますが、紙面には載りきらなかった補足コーナー等の情報も載せています。

抜粋(住職さんに聞くゾウ)

第一話「お経ってなんだろう?」

きくぞう君: むむむ、お経って面白いゾウ...何の意味があるんだろう。

住職さん: いい質問だね。確かにお経は古い漢文のものばかりだから、よく分からない人も多いだろうね。

きくぞう君: そうなんだよ?お経式やの法事で使われているよね。てかあなたのお経の漢文も聞いたことがあるけど、『良い』ところには書かすようにお願い。

住職さん: なるほど。そう言えば人もいろいろかもしれないね。一緒に考えよう。

お経は本来、インドのお釈迦さまの教えを伝えるために作られたお経文です。

⑥「お寺Q&A」

常高寺によく問い合わせのある質問に答えするコーナーです。本紙『あまね』にも掲載しています。

抜粋(お寺Q&A)

このコーナーでは、お寺よく問い合わせのある質問を取り上げ、お答えさせていただきます。説明不足や冗長になってしまった回答もあります。ご質問ください!

※あまねで、当山常高寺の回答となります。

質問一覧

Q1. お寺情報はくらげさんだいたいなのでしょうか?
2020年9月14日

Q2. お寺さんは普段どの様な一日を過ごしているのですか?
2020年9月14日

Q3. ご法座は何をされているのですか?
2020年9月17日

Q4. 戒名ではなく法名?居士・大師等は付け合いますか?
2020年9月23日

Q5. 葬儀は付けた方がよいのですか?
2020年9月23日

Q6. 永代供養はどうしたら出来ますか?
2020年9月23日

⑦「寺報(お寺の新聞)」

寺報紙『あまね』のPDFデータです。ダウンロード可能です。

⑧「前任職漫画作品紹介」

漫画家としても活動していた前任職の作品紹介です。響流書房より電子書籍として販売中です。

⑨「バルーンアート作品集」

常高寺住職のもう一つの顔。バルーンアートの作品集です。

抜粋(バルーンアート作品集)

作品一覧

- 風船で自己紹介
2020年9月14日 [もっと詳しく](#)
- 白象とお釈迦さま
2020年9月12日 [もっと詳しく](#)
- 巨大白象
2020年9月12日 [もっと詳しく](#)
- 獅子舞
2020年9月12日 [もっと詳しく](#)

⑩「新着お知らせ」

常高寺からの様々な報告をいち早くお知らせするコーナーです。

仏教学講座

住職さんに聞くゾウ? (第二話)

「仏に成るってなんだろう? (前編)」

※前の話は「あまね」1号かホームページで確認出来ませう。

「むむむ。お経が元々お釈迦(しやくか)さまが説かれた教えで、その全てが『仏に成る事』を目標としていうつて事は分かったゾウ。でも、そもそも『仏に成る』って何?」

「そうだね。以外と皆漠然としたイメージしか持っていないかも知れないね。」

「そうなんだよ。よく亡くなった人の事を『ほとけさん』って言うよね? 『仏に成る』って死ぬってどういうこと?」

「ドラマで刑事さんがよくそう言うてるよね(笑) 他にはどんなイメージをもってる?」

「んく、身体の悪いところが治つたりとか、何かすごいことが出来る様になるとか? 超能力や霊能力? みたいな。『きてます。きてます。(マリック風)』とか。」

「最後のはちよつと違う気がするけど。。(汗)なるほど。今回もいっしょに考えてみよう!」

まず『仏(ほとけ)』だけど、これは元々インドのお経に使われる『ブツダ』という言葉が語源だね。訳すと『目覚めたもの』。仏法の真理に目覚めた者という意味だね。お経には、『仏(ブツダ)』と成った者は苦しみから解放されると説かれているんだ。」

「苦しみからの解放? とつても楽しくなるつてこと!」

「それを説明するには、まず仏教の世界観を話さないといけないね。」

お釈迦さまはお経の中で、命ある者の世界は苦しみの

人物紹介



常高寺の新米住職丸なつてきたのでダイエツト中。



きんち君、常高寺の公式キャラクター。驚いた時『アッ、アッ』、びっくりした時『アッ、アッ』、ビックリした時『アッ、アッ』、ビックリした時『アッ、アッ』

連続であり、しかもそれは生まれ変わり死に変わりを繰返し絶え間ないと説かれるんだ。六道輪廻(ろくどうりんね)っていうんだけどね。

「ろくどう? 6つってこと?」

「そう。次の様な6つの境涯をぐるぐる生まれ変わるとされるんだ。」

①地獄(じごく)：六趣の中で最も苦しみの多い生存。様々な責め苦を受ける。

②餓鬼(がき)：常に飢餓に苦しむ満たされない存在。

③畜生(ちくしよう)：鳥獣虫魚などの畜養される存在。

④修羅(しゆら)：絶えず対立し闘争してやまない存在。

⑤人間(にんげん)：私達人間として生ずる生存。

⑥天(てん)：六趣の中で最も楽の多い神々の生存。

『自業自得(じごうじとく)』という仏教語があるけど、善い行為をした者は天界に、悪い行為をした者は地獄・餓鬼・畜生等の世界に生まれると説かれているんだ。」

「地獄コワイ。。天界に生まれたいゾウく〜。」

「そうだよね(笑)。ただ仏教の面白いところは、楽に満たされたその天界でさえも、抜け出すべき迷いの生存、苦しみの世界とされていることなんだ。」

「ぞぞぞう!? 天界でも? 神さまも暮らしてるすごい幸せそうなの!!!」

「不思議に思うよね。少し休憩して、次回その事について一緒に考えてみよう。」

次回 第三話

「仏に成るってなんだろう? (後編)」に続く・・・予定。

これが仏に成るってことかーっ!?



令和2年7月23日 うらぼんえ 盂蘭盆会法座

約半年ぶりのご法座、盂蘭盆会法座のご縁でした。ご講師は平山義文先生。新型コロナ対策のため、一席のみのご法話でありましたが、分かりやすくお盆の由来からお話し頂きありがたいご法縁となりました。またご門徒の皆さんの元気な顔も久しぶりに見ることが出来安心しました。



令和2年10月22日 しゅうきえいたいきょう 秋季永代経法座

雨にもかかわらず本当に多くの方々にお参りいただきました。ご講師は川上順之先生。テーマは仏さまのお慈悲。難しい言葉は極力使わない、ずっと心に入るお取り次ぎでした。法座の前には久しぶりの清掃奉仕。皆さまのおかげできれいな境内と本堂になりました。ありがとうございました。



寺
Q&A

よくある質問コーナー

※このコーナーでは常高寺によくお問い合せのある質問にお答えしています。

質問①

「戒名ではなく法名(ほうみょう)？居士・大姉等は付けないのですか？」

答え

「ご門徒の方によく「戒名」をくださいと言われます。浄土真宗では「法名(ほうみょう)」と言います。どちらも仏教徒としての名前を意味しますが、「戒名」とは本来、厳格な戒律を守り仏道修行する人々につけられる名前です。浄土真宗は戒律の1つも守ることの出来ない私たちが仏へと成らせて頂く教えなので「戒名」とせず、仏法に帰依する者として「法名」としています。また修行をしているわけでもないので「信士・信女・居士・大姉(しんし・しんにょ・こじ・だいし)」等の修行生活の形態をあらわす位号を原則つけません。お釈迦さまの弟子であることを意味する「釋(しやく)」の字を冠して、釋○○(○は漢字)と計三文字で名付けられます。

この「法名」。死んでからの名前と誤解される方もいますが、仏教徒として生きていく証の名前ですので、本来的には存命中に授かるべきものです。主に、西本願寺で行われる帰敬式(きききょうしき)を受式した際、ご門主さまより拝受します(おかみそり)。しかしながら、生前に帰敬式を受けるご縁が無かった方もおられ、そういった方に対し葬儀において各寺院の住職が、ご門主さまに代わり帰敬式を行い法名をおつけしていると

いうわけです。

帰敬式は特定の日を除き、毎日西本願寺(京都)にて受式出来ます。存命中に法名を賜りたいという方は、ぜひ本願寺へお参りください。

質問②

「院号は付けた方が良いのですか？」

答え

仮に□□院釋○○(□と○は漢字)とある場合、「□□院」が院号、「釋○○」が法名です。この「□□院」の漢字3文字を法名に付け加えた方が、良い事があるのかというのが、今回の質問です。葬儀の際に故人を対象としてよく聞かれますが、次の様にお答えしています。

「付けた方が良い、付けなければ劣るといった趣旨のものではありません」

「院号を付けると、死後良い場所に行ける」や「生前の社会的地位に見合うように」といった言葉を耳にする事があります。確かに院号は、過去に様々な意味合いを持たされた歴史があり、現在においても実態としてその様な考え方があるのかもしれない。それ自体を否定するつもりはありませんし、亡くなった親しい人に何かしてあげたい、その気持ち自体はとも自然なものだと思います。しかしながら教義上、浄土真宗では、その様な意味合いで院号を贈らせて頂く事はしておりません。院号の有無や字数の多寡に関わらず、浄土真宗は、ご信心を頂いた方が皆等しく浄土に生まれ仏に成らせて頂く教えだからです。現在、西本願

寺では院号を次の様に規定しています。

『宗門の護持発展に貢献した人、または宗門もしくは社会に対する功労が顕著であると認められた人に宗門から授与される称号。』

この様に本願寺では、院号は仏法を弘め宗門護持に尽くした人を讃える意味合いで贈られるものです。一般的には、宗門の護持発展に役立てる意味での懇志を一定額以上、西本願寺に納めた方に対して、西本願寺より交付されます(具体的な金額、申請方法については常高寺までご連絡ください)。ですから、存命中の方が院号を頂く事も当然あります。しかし多くの場合は、故人を追慕する形で故人に代わり、遺族の方が納める事が多いのが実情というわけです。どちらにしても院号の申請は、お寺やみ教えが永代に亘り存続していく事を願う気持ちが大切であるとされます。

家々の事情もありますし、様々な思いを院号に込められている方もおられると思います。今回お話しした内容は1つの判断材料として、今後ご検討して頂ければと思います。

※元々「院」とは「垣根を巡らした大きな建物」を意味する言葉で、「○○院」とは、身分の高い人をその住まいの名称で呼ぶ風習だったそうです。仏教でもその習慣が受容され、後に様々な考え方が派生したのだと考えられています。

釋
問
象

風船で寺族紹介

寺族
紹介

協力してお寺を盛り立てている寺族を紹介します。写真は恥ずかしいとの事でしたので、バルーンで作りました。似ているかどうかは、お寺にてご確認を。気軽にお声がけ下さい。



加藤 大地 (第18世住職)

常高寺の現住職です。平成26年の6月に現坊守(ぼうもり)と結婚し、常高寺に入寺しました。実家は島根県にあり、当寺と同じく、浄土真宗本願寺派のお寺です。寺院名も奇遇な事に「浄光寺(じょうこうじ)」と同じ読み名です。

まだ来て日も浅いですが、このお寺をもっと皆さんと近いものにしていける様に頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



加藤 真由 (現坊守) / 長女 (5歳) / 次女 (3歳)

常高寺の現坊守(ぼうもり)。現住職の妻です。主婦業と両立して、事務仕事や、仏教婦人会の活動、お寺ヨガ・ピラティスや料理教室の管理など、様々な面でお寺の活動を支えてくれています。また僧籍も所持しており、人手が足りない時は、お参りに行く事もあります。

背中におんぶしている赤服の子は長女、だっこしている黄服の子は次女です。元気盛りで、お寺の法要にも、ちょくちょく参加しています。家族共々よろしくお願いします。



加藤 泰憲 (第17世住職 平成29年12月9日ご往生)

常高寺の前住職(現住職の義父)。仏さまVersionです。平成29年にご往生されました。非常に気さくで、良い意味でお坊さんぶらないその人柄。ご門徒の皆さんにとっても人気のある住職でした。

若い頃、仏教漫画を多数書いており、その作品群を纏めた漫画集は、現在電子書籍にて、多くの方々にご好評を頂いております。興味のある方は、ホームページの「前住職漫画作品紹介」をクリックしてみてください。



加藤 女久美 (前坊守)

常高寺の前坊守(現住職の義母)です。今なお、常高寺の大黒柱です。お寺の運営に関して様々な面で、相談に乗ってもらっています。坊守としての長年の経験を活かして、お寺とご門徒の皆さんを、いつも繋いでくれています。またお花が好きで、常高寺の仏花の殆どは、いつも義母が生けてくれています。



加藤 花子 (前々坊守)

常高寺の前々坊守(住職の義祖母)です。長年先々代住職と共にお寺を護持してきました。養子の私をいつも立ててくれる、優しい祖母です。令和2年の7月にご往生されました。南無阿弥陀仏。



遠山 真紀 (住職義妹) /長女 (3歳) /次女 (2歳)

結婚後もお寺に手伝いに来てくれる義理の妹です。家事と平行して、お寺の事務仕事を支えています。また漫画家であった前住職譲り?の画力を活かし、広報用のイラスト画等を担当しています。常高寺のマスコットキャラクター「きくぞう君」のイラストレーターです。

左手に抱えている青服の子は遠山家長女、右手に抱えている白服の子は次女です。私の子達とけんかしては仲直りの繰返し。とても賑やかです。



真紀 夫

真紀さんの夫です。一般の仕事に就いており、お寺で顔を見ることは少ないかもしれませんが、時間のある時に子供達とよく遊んでくれ、とても助かっています。サッカー好きのスポーツマンです。

おしらせ

今後の行事予定

【令和二年】

十一月二十五日(水)

報恩講法座 当山住職

十二月三十一日(木)

除夜の鐘

【令和三年】

一月一日(金)

修正会

一月十四日(木)～十五日(金)

ご正忌報恩講法座 北山裕章先生

三月十八日(木)～十九日(金)

春季彼岸会法座 山本攝叡先生

四月二十二日(木)～二十三日(金)

春季永代経法座 深水健司先生

五月二十日(木)～二十一日(金)

降誕会法座 浅野執持先生

※状況をみて、開催の可否に関しましては、都度ご連絡致します。

きくぞう君を探せ!

紙面のどこかに次のきくぞう君がいるよ!



瞑想中
きくぞう君



バルーン
きくぞう君



超(スーパー)
きくぞう君



天上天下唯我独尊
きくぞう君

おしらせ

・九月に予定しておりました門徒会館の建設ですが、新型コロナウイルスの影響もあり延期しております。工期に関しましては、詳細が決まり次第、また報告させて頂きます。

・新型コロナウイルス感染症予防策として、常高寺では本堂の換気、座席間隔をあげる、消毒用アルコールの常設、僧侶のマスクの着用等を実施しております。ご門徒の皆さまに於かれましても、ご法事等の際は、マスクの着用や手洗いの励行等、感染対策へのご協力をお願い致します。



NO! 三密

編集後記

新型コロナウイルスが世間に認知されてから、もうじき一年。昨年までは、まさかこの様な事態になるとは夢にも思いませんでした。ソーシャルディスタンスの考え方が浸透していく中、お寺のあり方も変化を求められている様に思います。

古き良き伝統は維持しながら、その時々々の状況に応じて最善の方法を模索していく。様々な時代の中、繋がられてきた仏教。先人たちの姿にもその姿勢が見られます。ごく微力ではありますが、私も自分出来る事を一つ一つ重ねていければと思います。

本紙『あまね』は年二回を目処に発行を予定しております。何かリクエストがございましたら、お気軽にご連絡下さい。

常高寺住職 加藤大地